

青少年教育指導者の養成・研修

ボランティア養成研修 ボランティア養成セミナー 兼 自然体験活動指導者(NEALリーダー)養成事業

1 ねらい

独立行政法人国立青少年教育振興機構のボランティアとして一定レベルの資質を確保するとともに、青少年教育施設におけるボランティア活動を推進し、その活動機会の拡充を図るため、法人ボランティアの養成を行う。合わせて、自然体験活動を意識的に提供するための正しい知識を習得する。

2 期日

平成30年5月12日(土)～13日(日)【1泊2日】

3 対象

15歳以上(高校生以上)

4 参加人数/募集人数

66名/50名

5 講師・スタッフ

金沢大学大学院 教授 松本 謙一 氏
立山町消防本部職員 4名 富山大学救急医学勉強会 6名
法人ボランティア 2名 国立立山青少年自然の家職員

6 後援・協力

後援：富山・石川・新潟各県教育委員会、富山県キャンプ協会、北日本新聞社

7 日程



	午前	午後	夜
5月12日 (土) 1日目	開校式 ガイダンス 講義「ボランティア活動の意義」	講義「体験活動でたくましい子どもを育てる(青少年教育)」 講義・演習「自然体験活動の技術」 (野外ゲーム、野外炊事)	講義「青少年教育施設におけるボランティア活動」 (先輩ボランティアの話) 講義・演習「自然体験活動の技術」 (キャンプファイヤー) ※本館泊
5月13日 (日) 2日目	実習「つどい体験」 講義・演習「救命救急法」	講義「青少年教育施設の現状と運営」 講義「青少年教育施設におけるボランティア活動」(説明) 閉講式	

8 参加者からの感想

- 子供の気持ちや考えていることを読み取り、その応じた言動を常に考えなくてはならないので大変だと思いました。しかし、大変さが大きい反面、近くで子供の成長を見られるこんなにより体験はないと思ったので頑張ります。
- こんなに自然に囲まれ、全身で味わえるところなのだから、たくさんの自然と触れ合い、自然の生かし方を考えたいです。また、子供たちに還元できるよう、キャンプやレクリエーション等の技術を身に付けたいです。

9 成果

- 「ボランティアって何するの?」という問いかけから始まり「子供たちへの接し方、考え方」などを学び、さらに先輩ボランティアから子供たちとの接する様子や成果を聞いたことで、法人ボランティアとして事業に参加する意欲が高まった。
- 野外ゲームや野外炊事、キャンプファイヤーなどの野外体験活動では、実際に自分たちが楽しさを感じることができ、それをキャンプの中で子供たちに伝えていきたいという思いをもつことができた。
- 1泊2日、GWの後ということで受講者にとっては参加しやすかった。

10 今後の課題

- NEAL指導者養成講習を分けて行うこと(今回のセミナーと9月)にしたが、受講者からは一緒にしてほしいという声も聞かれた。